

JCOG0406 試験

研究組織(平成 24 年度)

本試験の主たる研究班

厚生労働科学研究費補助金 がん臨床研究事業(H22-がん臨床-一般-029)

「進行期難治性 B 細胞リンパ腫に対する治癒を目指した自家末梢血幹細胞移植併用大量化学療法確立に関する研究」班

班研究代表者:山本一仁(愛知県がんセンター中央病院)

独立行政法人国立がん研究センターがん研究開発費 23-A-17

「高感受性悪性腫瘍に対する標準治療確立のための多施設共同研究」班

班研究代表者:飛内賢正(国立がん研究センター中央病院)

研究グループとグループ代表者

JCOG リンパ腫グループ

グループ代表者:塚崎邦弘

国立がん研究センター東病院 血液腫瘍科

〒277-8577 千葉県柏市柏の葉 6-5-1

Tel: 04-7133-1111

Fax: 04-7134-6922

E-mail: ktsukasa@east.ncc.go.jp

グループ事務局:丸山 大

国立がん研究センター中央病院

〒104-0045 東京都中央区築地 5-1-1

TEL: 03-3542-2511(内線 3530)

FAX: 03-3542-3815

E-mail: dmaruyam@ncc.go.jp

研究代表者

小椋美知則

名古屋第二赤十字病院 血液内科

〒466-8650 愛知県名古屋市昭和区妙見町2-9

TEL 052-832-1121

FAX 052-832-1130

E-mail: mi-ogura@naa.att.ne.jp

研究事務局

小椋美知則

名古屋第二赤十字病院 血液内科

〒466-8650 愛知県名古屋市昭和区妙見町2-9

TEL 052-832-1121

FAX 052-832-1130

E-mail; mi-ogura@naa.att.ne.jp

病理中央診断事務局

松野吉宏

北海道大学病院 病理部

〒060-8648 北海道札幌市北区北 14 条西 5 丁目

TEL:011-706-5716

FAX:011-707-5116

E-mail:ymatsuno@med.hokudai.ac.jp

病理判定委員

中村栄男(名古屋大学)

中村直哉(東海大学)

大島孝一(久留米大学)

データセンター/運営事務局

JCOG データセンター

データセンター長 福田 治彦

国立がん研究センター 多施設臨床試験支援センター

〒104-0045 東京都中央区築地 5-1-1

TEL:03-3542-3373

FAX:03-3542-3374

E-mail:jcogdata@mljcog.jp

JCOG 運営事務局

運営事務局長 中村 健一

国立がん研究センター 多施設臨床試験支援センター

〒104-0045 東京都中央区築地 5-1-1

TEL:03-3542-2511(内線 2404)

FAX:03-3542-7006

E-mail:jcogoffice@mljcog.jp

公式ホームページ <http://www.jcog.jp/>

研究グループ担当者

JCOG データセンター

統計部門

柴田 大朗

DM 部門

渡部 裕子

JCOG 運営事務局

研究支援部門

高島淳生/金戸啓介

プロトコール作成

プロトコール作成

JCOG リンパ腫グループプロトコール検討委員会

国立がん研究センター中央病院 飛内 賢正
 国立がん研究センター中央病院 渡辺 隆
 国立がん研究センター東病院 伊藤 國明
 札幌北榆病院 中田 匡信
 国立病院機構名古屋医療センター 堀田 知光
 東海大学医学部 大間知 謙
 愛知県がんセンター中央病院 森島 泰雄[※]
 名古屋第二赤十字病院 小椋 美知則
 名古屋大学医学部 木下 朝博[※]
 三重大学医学部 山口 素子
 新潟県立がんセンター新潟病院 張 高明
 滋賀県立成人病センター 鈴木 孝世
 長崎大学医学部 朝長 万左男[※]
 長崎大学医学部 塚崎 邦弘
 国立がん研究センター中央病院 下山 正徳

※所属はプロトコール作成時

プロトコール作成支援

JCOG データセンター

統計部門(デザイン担当) 柴田 大朗
 DM 部門(CRF 作成) 加幡 晴美

JCOG 運営事務局

研究支援部門 齋藤 勇
 研究支援部門(IC 文書担当) 三浦 弥生

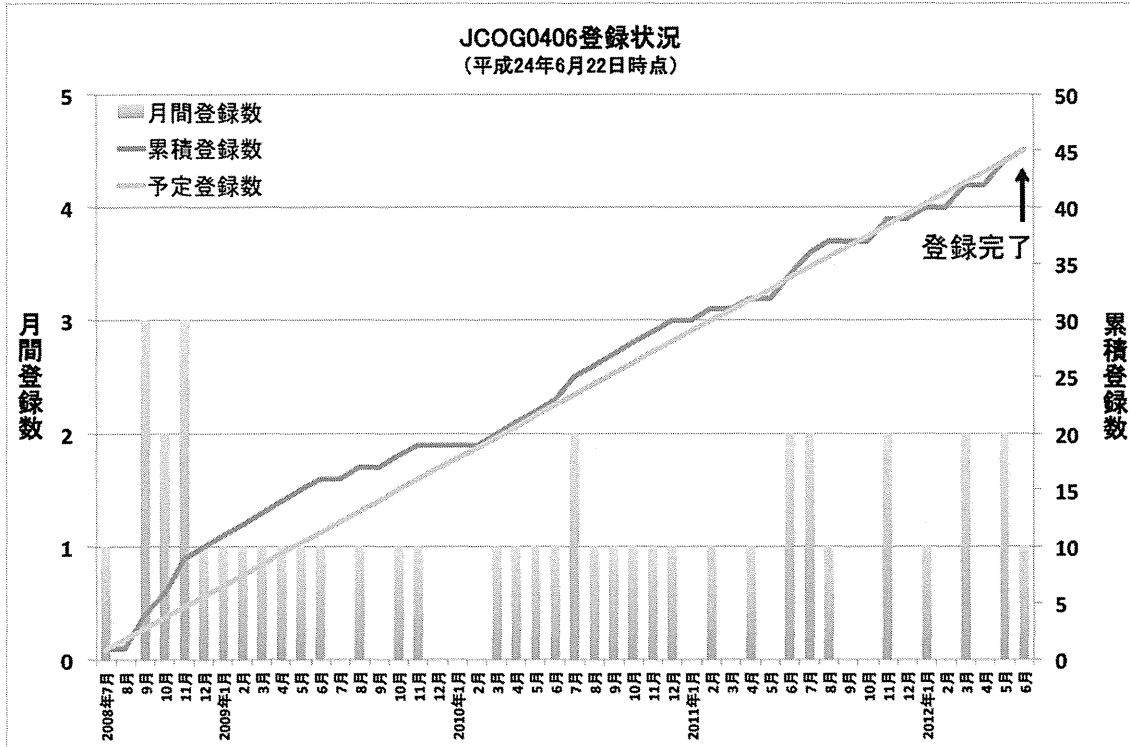
JCOG0406 参加施設(平成 25 年 3 月 1 日現在)

最新の参加施設一覧は JCOG ホームページ(<http://www.jcog.jp/>)で 1 か月に 1 度更新されているので、確認可能である。下記の JCOG リンパ腫グループのうち、本試験への参加施設は以下の 48 施設である。IRB 承認施設は○で示した(平成 25 年 3 月 1 日時点)。本研究班の研究代表者施設及び研究分担者施設は☆で示した。登録症例数は平成 25 年 3 月 1 日時点で集計した。

	医療機関名	科名(施設名)	研究責任者	コーディネーター	登録症例数
○	国立病院機構北海道がんセンター	血液内科	黒澤 光俊	菊池 和彦	3
☆	札幌北榆病院	血液内科	中田 匡信	中田 匡信	1
○	東北大学病院	血液・免疫科	張替 秀郎	石澤 賢一	2
○	秋田大学医学部	血液腎膠原病内科	澤田 賢一	亀岡 吉弘	1
○	太田西ノ内病院	血液疾患センター	松田 信	斉藤 由理恵	0
○	群馬大学医学部附属病院	第3内科	塚本 憲史	横濱 章彦	2
○	埼玉県立がんセンター	血液内科	小林 泰文	久保田 靖子	1

○	埼玉医科大学総合医療センター	血液内科	木崎 昌弘	得平 道英	0
○	国立がん研究センター東病院	化学療法科	塚崎 邦弘	根津 雅彦	0
○	千葉県がんセンター	腫瘍血液内科	熊谷 匡也	辻村 秀樹	1
☆	国立がん研究センター中央病院	血液腫瘍科	飛内 賢正	小林 幸夫	5
○	杏林大学医学部	第2内科	高山 信之	高山 信之	1
○	東京医科大学病院	第1内科	大屋敷 一馬	後藤 明彦	1
○	がん・感染症センター都立駒込病院	化学療法科	前田 義治	岡元るみ子	2
○	東京慈恵会医科大学附属病院	腫瘍・血液内科	矢萩 裕一	齋藤 健	0
○	東京慈恵会医科大学第三病院	腫瘍・血液内科	薄井 紀子	土橋 史明	0
☆	癌研究会有明病院	血液腫瘍科	畠 清彦	横山 雅大	0
○	NTT 東日本関東病院	血液内科	臼杵 憲祐	半下石 明	1
○	東海大学医学部	血液・腫瘍内科	安藤 潔	植田 いずみ	4
○	金沢医科大学	血液リウマチ・膠原病科/ 血液免疫制御学	正木 康史	正木 康史	0
○	福井大学医学部附属病院	血液・腫瘍内科	上田 孝典	岸 慎治	0
○	浜松医科大学	腫瘍センター	大西 一功	勝見 章	1
☆	愛知県がんセンター中央病院	血液細胞療法部	木下 朝博	山本 一仁	2
○	国立病院機構名古屋医療センター	血液内科	永井 宏和	永井 宏和	1
○	名古屋大学医学部	血液内科	冨田 章裕	島田 和之	0
○	名古屋市立大学病院	血液・膠原病内科	飯田 真介	楠本 茂	0
☆	名古屋第二赤十字病院	血液・腫瘍内科	小椋 美知則	内田 俊樹	2
○	愛知医科大学附属病院	血液内科	仁田 正和	花村 一朗	1
○	三重大学医学部	血液内科	山口 素子	宮崎 香奈	1
○	滋賀県立成人病センター	血液・腫瘍内科	鈴木 孝世	内海 貴彦	1
○	京都府立医科大学	血液内科	谷脇 雅史	古林 勉	2
○	兵庫県立がんセンター	血液内科	村山 徹	五明 広志	3
新規	広島大学病院	血液内科	一戸 辰夫	黒田 芳明	0
○	国立病院機構四国がんセンター	血液腫瘍科	吉田 功	吉田 功	0
○	愛媛大学医学部附属病院	第1内科	安川 正貴	薬師神 芳洋	1
☆	国立病院機構九州がんセンター	血液内科	鶴池 直邦	末廣 陽子	3
○	福岡大学医学部	腫瘍・血液・感染症内科	田村 和夫	高松 泰	0
○	国立病院機構九州医療センター	血液内科	岡村 精一	原田 直樹	0
○	産業医科大学	化学療法センター・血液科	塚田 順一	森本 浩章	0
○	佐賀大学医学部	血液・呼吸器・腫瘍内科	木村 晋也	進藤 岳郎	0
○	国立病院機構長崎医療センター	血液内科	吉田 真一郎	吉田 真一郎	0
○	佐世保市立総合病院	内科	森内 幸美	森内 幸美	0
☆	長崎大学病院	原研内科	宮崎 泰司	今泉 芳孝	0
○	熊本大学医学部	血液内科	野坂 生郷	野坂 生郷	2

○	国立病院機構熊本医療センター	内科	日高 道弘	井上 佳子	0
○	大分県立病院	血液内科	佐分利 能生	大塚 英一	0
○	鹿児島大学医学部・歯学部附属病院	血液・膠原病内科	魚住 公治	吉満 誠	0
○	今村病院分院	内科	宇都宮 與	宇都宮 與	0



JCOG0908 試験

研究組織(平成 24 年度)

本試験の主たる研究班

厚生労働科学研究費補助金 がん臨床研究事業(H22-がん臨床-一般-029)

「進行期難治性B細胞リンパ腫に対する治癒を目指した自家末梢血幹細胞移植併用大量化学療法
法の確立に関する研究」班

班研究代表者: 山本一仁(愛知県がんセンター中央病院)

独立行政法人国立がん研究センターがん研究開発費 23-A-17

「高感受性悪性腫瘍に対する標準治療確立のための多施設共同研究」班

班研究代表者: 飛内賢正(国立がん研究センター中央病院)

研究グループとグループ代表者

JCOG リンパ腫グループ

グループ代表者: 塚崎邦弘

国立がん研究センター東病院 血液腫瘍科

〒277-8577 千葉県柏市柏の葉 6-5-1

Tel: 04-7133-1111

Fax: 04-7134-6922

E-mail: ktsukasa@east.ncc.go.jp

グループ事務局: 丸山 大

国立がん研究センター中央病院

〒104-0045 東京都中央区築地 5-1-1

TEL: 03-3542-2511(内線 3530)

FAX: 03-3542-3815

E-mail: dmaruyam@ncc.go.jp

研究代表者

山本一仁

愛知県がんセンター中央病院 血液・細胞療法部

〒464-8681 愛知県名古屋市千種区鹿子殿 1-1

TEL: 052-762-6111 内線 6166

FAX: 052-764-9891

E-mail: kyamamoto@aichi-cc.jp

研究事務局

山本一仁

愛知県がんセンター中央病院 血液・細胞療法部

〒464-8681 愛知県名古屋市千種区鹿子殿 1-1

TEL: 052-762-6111 内線 6166

FAX: 052-764-9891

E-mail: kyamamoto@aichi-cc.jp

鏡味良豊

豊田厚生病院 血液内科

〒470-0396 愛知県豊田市浄水町伊保原 500-1

TEL: 0565-43-5000

E-mail: y-kagami@toyota.jaaikosei.or.jp

病理中央診断事務局

松野吉宏

北海道大学病院 病理部

〒060-8648 北海道札幌市北区北 14 条西 5 丁目

TEL: 011-706-5716

FAX: 011-707-5116

E-mail: ymatsuno@med.hokudai.ac.jp

病理判定委員

中村栄男(名古屋大学)

中村直哉(東海大学)

大島孝一(久留米大学)

データセンター/運営事務局

JCOG データセンター

データセンター長 福田 治彦

国立がん研究センター 多施設臨床試験支援センター

〒104-0045 東京都中央区築地 5-1-1

TEL: 03-3542-3373

FAX: 03-3542-3374

E-mail: jcogdata@ml.jcog.jp

JCOG 運営事務局

運営事務局長 中村 健一

国立がん研究センター 多施設臨床試験支援センター

〒104-0045 東京都中央区築地 5-1-1

TEL: 03-3542-2511(内線 2404)

FAX: 03-3542-7006

E-mail: jcogoffice@ml.jcog.jp

公式ホームページ <http://www.jcog.jp/>

研究グループ担当者

JCOG データセンター

統計部門 柴田 大朗

DM 部門 渡部 裕子

JCOG 運営事務局

研究支援部門

高島淳生/金戸啓介

プロトコール作成

プロトコール作成

JCOG リンパ腫グループプロトコール検討委員会

国立がん研究センター中央病院 飛内 賢正

国立がん研究センター中央病院 渡辺 隆

国立がん研究センター東病院 伊藤 國明

札幌北楡病院 中田 匡信

国立病院機構名古屋医療センター 堀田 知光

東海大学医学部 大間知 謙

愛知県がんセンター中央病院 森島 泰雄*

名古屋第二赤十字病院 小椋 美知則

名古屋大学医学部 木下 朝博*

三重大学医学部 山口 素子

新潟県立がんセンター新潟病院 張 高明

滋賀県立成人病センター 鈴木 孝世

長崎大学医学部 朝長 万左男*

長崎大学医学部 塚崎 邦弘

国立がん研究センター中央病院 下山 正徳

※所属はプロトコール作成時

プロトコール作成支援

JCOG データセンター

統計部門(デザイン担当) 柴田 大朗

DM 部門(CRF 作成) 加幡 晴美

JCOG 運営事務局

研究支援部門 齋藤 勇

研究支援部門(IC 文書担当) 松原 聖子

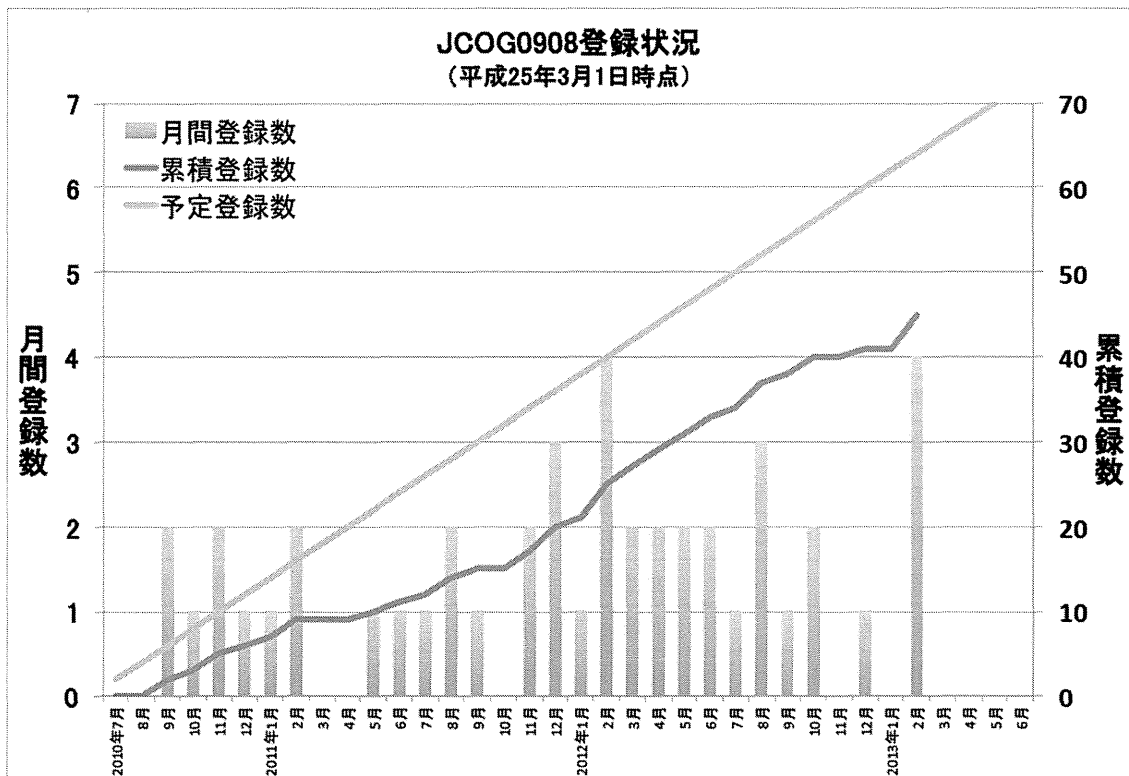
JCOG0908 参加施設(平成 25 年 3 月 1 日現在)

最新の参加施設一覧は JCOG ホームページ(<http://www.jcog.jp/>)で 1 か月に 1 度更新されているので、確認可能である。下記の JCOG リンパ腫グループのうち、本試験への参加施設は以下の 48 施設である。IRB 承認施設は○で示した(平成 25 年 3 月 1 日時点)。本研究班の研究代表者施設及び研究分担者施設は☆で示した。登録症例数は平成 25 年 3 月 1 日時点で集計した。

	医療機関名	科名(施設名)	研究責任者	コーディネーター	登録症例数
○	国立病院機構北海道がんセンター	血液内科	黒澤 光俊	菊池 和彦	0
☆	札幌北楡病院	血液内科	中田 匡信	中田 匡信	1

○	東北大学病院	血液・免疫科	張替 秀郎	石澤 賢一	1
○	秋田大学医学部	血液腎膠原病内科	澤田 賢一	亀岡 吉弘	0
○	太田西ノ内病院	血液疾患センター	松田 信	斉藤 由理恵	0
○	群馬大学医学部附属病院	第3内科	塚本 憲史	横濱 章彦	0
○	埼玉県立がんセンター	血液内科	小林 泰文	久保田 靖子	2
○	埼玉医科大学総合医療センター	血液内科	木崎 昌弘	得平 道英	1
○	国立がん研究センター東病院	化学療法科	塚崎 邦弘	根津 雅彦	0
○	千葉県がんセンター	腫瘍血液内科	熊谷 匡也	辻村 秀樹	2
☆	国立がん研究センター中央病院	血液腫瘍科	飛内 賢正	小林 幸夫	12
○	杏林大学医学部	第2内科	高山 信之	高山 信之	0
○	東京医科大学病院	第1内科	大屋敷 一馬	後藤 明彦	0
○	がん・感染症センター都立駒込病院	化学療法科	前田 義治	岡元るみ子	0
○	東京慈恵会医科大学附属病院	腫瘍・血液内科	矢萩 裕一	齋藤 健	0
○	東京慈恵会医科大学第三病院	腫瘍・血液内科	薄井 紀子	土橋 史明	0
☆	癌研究会有明病院	血液腫瘍科	畠 清彦	横山 雅大	0
○	NTT 東日本関東病院	血液内科	臼杵 憲祐	半下石 明	2
○	東海大学医学部	血液・腫瘍内科	安藤 潔	植田 いずみ	0
○	金沢医科大学	血液リウマチ・膠原病科/ 血液免疫制御学	正木 康史	正木 康史	0
○	福井大学医学部附属病院	血液・腫瘍内科	上田 孝典	岸 慎治	0
○	浜松医科大学	腫瘍センター	大西 一功	勝見 章	0
☆	愛知県がんセンター中央病院	血液細胞療法部	木下 朝博	山本 一仁	4
○	国立病院機構名古屋医療センター	血液内科	永井 宏和	永井 宏和	1
○	名古屋大学医学部	血液内科	富田 章裕	島田 和之	3
○	名古屋市立大学病院	血液・膠原病内科	飯田 真介	楠本 茂	0
☆	名古屋第二赤十字病院	血液・腫瘍内科	小椋 美知則	内田 俊樹	4
○	愛知医科大学附属病院	血液内科	仁田 正和	花村 一朗	0
○	三重大学医学部	血液内科	山口 素子	宮崎 香奈	0
○	滋賀県立成人病センター	血液・腫瘍内科	鈴木 孝世	内海 貴彦	0
○	京都府立医科大学	血液内科	谷脇 雅史	古林 勉	1
○	兵庫県立がんセンター	血液内科	村山 徹	五明 広志	2
新規	広島大学病院	血液内科	一戸 辰夫	黒田 芳明	0
○	国立病院機構四国がんセンター	血液腫瘍科	吉田 功	吉田 功	0
○	愛媛大学医学部附属病院	第1内科	安川 正貴	薬師神 芳洋	0
☆	国立病院機構九州がんセンター	血液内科	鵜池 直邦	末廣 陽子	2
○	福岡大学医学部	腫瘍・血液・感染症内科	田村 和夫	高松 泰	1
○	国立病院機構九州医療センター	血液内科	岡村 精一	原田 直樹	0
○	産業医科大学	化学療法センター・血液科	塚田 順一	森本 浩章	0

○	佐賀大学医学部	血液・呼吸器・腫瘍内科	木村 晋也	進藤 岳郎	0
○	国立病院機構長崎医療センター	血液内科	吉田 真一郎	吉田 真一郎	0
○	佐世保市立総合病院	内科	森内 幸美	森内 幸美	0
☆	長崎大学病院	原研内科	宮崎 泰司	今泉 芳孝	4
○	熊本大学医学部	血液内科	野坂 生郷	野坂 生郷	1
○	国立病院機構熊本医療センター	内科	日高 道弘	井上 佳子	1
○	大分県立病院	血液内科	佐分利 能生	大塚 英一	0
○	鹿児島大学医学部・歯学部附属病院	血液・膠原病内科	魚住 公治	吉満 誠	0
○	今村病院分院	内科	宇都宮 與	宇都宮 與	0



Ⅱ. 研究成果の刊行に関する一覧表

平成22年度 研究成果の刊行に関する一覧表

書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
山本一仁	加齢性EBウイルス陽性B細胞リンパ腫	金倉譲	血液疾患エキスパート「悪性リンパ腫」	中外医学社	東京	2010	264-269
鵜池直邦	yttrium-90 ibritumomab tiuxetan	西條長宏	EBM がん化学療法・分子標的治療法 2011-2012	中外医学社	東京	2010	
横山雅大	2. 予防投与 4) G-CSF	田村和夫	発熱性好中球減少症の予防と対策	医薬ジャーナル社	大阪	2010	54-59
横山雅大	悪性リンパ腫の治療における補助療法・感染予防対策	金倉譲	血液診療エキスパート「悪性リンパ腫」	中外医学社	東京	2010	301-304
横山雅大	Diffuse large B-cell lymphomaに対するR-CHOP療法. ファーストラインにおける高齢者と若年者のエビデンスの違い	西條長宏	EBM がん化学療法・分子標的治療法 2011-2012	中外医学社	東京	2010	507-511

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Tobinai K, Ogura M, Watanabe T, Morishima Y, et al.	Randomized phase II study of concurrent and sequential combinations of rituximab plus CHOP (cyclophosphamide, doxorubicin, vincristine and prednisolone) chemotherapy in untreated indolent B-cell non-Hodgkin lymphoma: 7-year follow-up results	Cancer Sci	101(12)	2579-2585	2010
Yamamoto K., Utsunomiya A., Tobinai K., et al.	Phase I Study of KW-0761, a Defucosylated Humanized Anti-CCR4 Antibody, in Relapsed Patients with Adult T-Cell Leukemia-Lymphoma and Peripheral T-Cell Lymphoma	J Clin Oncol	28(9)	1591-1598	2010

Chihara D., Yamamoto K., Morishima Y., et al.	Primary gastric diffuse large B-cell Lymphoma (DLBCL): analyses of prognostic factors and value of pretreatment FDG-PET scan	Eur J Haematol	84(6)	493-498	2010
Kato H., Yamamoto K., Morishima Y., et al.	Clinical impact and predisposing factors of delayed-onset neutropenia after autologous hematopoietic stem-cell transplantation for B-cell non-Hodgkin lymphoma: association with an incremental risk of infectious events	Ann Oncol	21(8)	1699-1705	2010
R. Seki, N. Uike, F. Kawano, et al.	Prognostic significance of S-phase kinase-associated protein 2 and p27 ^{kip1} in patients with diffuse large B-cell lymphoma: effects of rituximab	Ann Oncol	21(4)	833-841	2010
Ohmachi K, Ogura M, Watanabe T, Naokuni Uike, et al.	Multicenter phase II study of bendamustine for relapsed or refractory indolent B-cell non-Hodgkin lymphoma and mantle cell lymphoma	Cancer Sci	101(9)	2059-2064	2010
K Tobinai, M Ogura, N Uike, et al.	Phase I study of the oral mammalian target of rapamycin inhibitor everlimus (RAD001) in Japanese patients with relapsed or refractory non-Hodgkin lymphoma	Int J Hematol	92(4)	563-570	2010
Tobinai K, Ogura M, et al	Phase I study of LY2469298, an Fc-engineered humanized anti-CD20 antibody, in patients with relapsed or refractory follicular lymphoma	Cancer Sci	102(2)	432-438	2011
Ohmachi K, Nakata M, Ogura M, et al	Phase III trial of CHOP-21 versus CHOP-14 for aggressive non-Hodgkin's lymphoma: final results of the Japan Clinical Oncology Group Study, JCOG 9809	Ann Oncol	22(6)	1382-1391	2011
Nagai H, Ogura M, et al,	Cladribine combined with rituximab (R-2-CdA) therapy is an effective salvage therapy in relapsed or refractory indolent B-cell non-Hodgkin lymphoma	Eur J Haematol	86(2)	117-123	2011

<u>Ogura M, Itoh K, et al.</u>	Phase II study of ABVd therapy for newly diagnosed clinical stage II to IV Hodgkin lymphoma: Japan Clinical Oncology Group study (JCOG 9305)	Int J Hematol	92(5)	713-724	2010
<u>Tobinai K, Ogura M, et al.</u>	Phase I study of the oral mammalian target of rapamycin inhibitor everolimus (RAD001) in Japanese patients with relapsed or refractory non-Hodgkin lymphoma	Int J Hematol	92(4)	563-570	2010
<u>Ogura M, Uchida T, et al.</u>	Phase I and pharmacokinetic study of bendamustine hydrochloride in relapsed or refractory indolent B-cell non-Hodgkin lymphoma and mantle cell lymphoma.	Cancer Sci	101(9)	2054-2058	2010
<u>Ogura M</u>	Targeted treatment and new agents in mantle cell lymphoma.	Int J Hematol	92(1)	25-32	2010
<u>Ogura M, Watanabe T, Yokoyama M, et al.</u>	Phase 1 study of inotuzumab ozogamicin (CMC-544) in Japanese patients with follicular lymphoma pretreated with rituximab-based therapy.	Cancer Sci	101(8)	1840-1845	2010
<u>Itonaga H, Fukushima T, et al.</u>	Successful treatment of a chronic-phase T-315I-mutated chronic myelogenous leukemia patients with a combination of imatinib and interferon-alfa	Int J Hematol	95(2)	209-213	2012
<u>Tominaga-Sato S, Fukushima T, et al.</u>	Expression of myeloperoxidase and gene mutations in AML patients with normal karyotype: double CEBPA mutations are associated with high percentage of MPO positivity in leukemic blasts	Int J Hematol	94(1)	81-89	2011
<u>Fukushima T, Taguchi J, et al.</u>	Allogeneic hematopoietic stem cell transplantation for ATL with central nervous system involvement: The Nagasaki Transplant Group experience	Int J Hematol	94(4)	390-394	2011

Ando K, <u>Fukushima T</u> , et al.	High expression of 67-kDa laminin receptor relates to the proliferation of leukemia cells and increases expression of GM-CSF receptor	Exp Hematol	31(2)	179-186	2011
Ishitsuka K, <u>Fukushima T</u> , et al	Is zidovudine and interferon-alfa the gold standard for adult T-cell leukemia-lymphoma?	J Clin Oncol	28	E765	2010
Maruyama D, <u>Watanabe T</u> , et al.	Modified cyclophosphamide, vincristine, doxorubicin, and methotrexate (CODOX-M)/ifosfamide, etoposide, and cytarabine (IVAC) therapy with or without rituximab in Japanese adult patients with Burkitt lymphoma (BL) and B cell lymphoma, unclassifiable, with features intermediate between diffuse large B cell lymphoma and BL	Int J Hematol	92(5)	732-743	2010
Hashimoto K, <u>Watanabe T</u> , et al.	Pneumocystis jiroveci pneumonia in relation to CD4+ lymphocyte count in patients with B-cell non-Hodgkin lymphoma treated with chemotherapy	Leuk Lymphoma	51(10)	1816-1821	2010
Yokoyama H, <u>Watanabe T</u> , et al.	Hematopoietic stem cell transplantation for therapy-related myelodysplastic syndrome and acute leukemia: a single-center analysis of 47 patients	Int J Hematol	92(2)	334-341	2010
Takeuchi K, <u>Yokoyama M</u> , et al.	Lymphomatoid gastropathy: a distinct clinicopathological entity of self-limited pseudomalignant NK-cell proliferation	Blood	116(25)	5631-5637	2010
Ennishi D, <u>Yokoyama M</u> , et al.	Hepatic toxicity and prognosis in HCV-infected patients with diffuse large B-cell lymphoma treated with rituximab-containing chemotherapy regimens: a Japanese multicenter analysis	Blood	116(24)	5119-5125	2010

平成23年度 研究成果の刊行に関する一覧表

書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
山本一仁、櫻井香世	各施設におけるダザチニブの実臨床・院内整備・副作用対策編	直江知樹	白血病治療におけるダザチニブのすべて	メディカルレビュー社	東京都 / 大阪市	2011	34-43
山本一仁	悪性リンパ腫の病期診断, 予後予測因子	押味和夫	白血病リンパ腫 骨髄腫-今日の診断と治療 第2版	中外医学社	東京都	2011	338-351
渡辺隆	治療効果の判定とフォローアップ	押味和夫	みんなに役立つ悪性リンパ腫の基礎と臨床 改訂版	医薬ジャーナル社	大阪市	2011	241-253

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Tokunaga T., Shimada K., Yamamoto K., Chihara D., Ichihashi T., Oshima R., Tanimoto M., Iwasaki T., Isoda A., Sakai A., Kobayashi H., Kitamura K., Matsue K., Taniwaki M., Tamashima S., Saburi Y., Masunari T., Naoe T., Nakamura S., Kinoshita T.	Retrospective analysis of prognostic factors for angioimmunoblastic T-cell lymphoma: a multicenter cooperative study in Japan	Blood	119(12)	2837-2843	2012
Ishida I., Joh T., Uike N., Yamamoto K., Utsunomiya A., Yoshida S., Saburi Y., Miyamoto T., Takemoto S., Suzushima H., Tsukasaki K., Nosaka K., Fujiwara H., Ishitsuka K., Inagaki H., Ogura M., Akinaga S., Tomonaga M., Tobinai K., Ueda R.	Defucosylated Anti-CCR4 Monoclonal Antibody (KW-0761) for Relapsed Adult T-Cell Leukemia-Lymphoma: A Multicenter Phase II Study	J Clin Oncol	30(8)	837-842	2012
Tanaka T., Shimada K., Yamamoto K., Hirooka Y., Niwa Y., Sugiura I., Kitamura K., Kosugi H., Kinoshita T., Goto H., Nakamura S.	Retrospective analysis of primary gastric diffuse large B cell lymphoma in the rituximab era: a multicenter study of 95 patients in Japan	Ann Hematol	91(3)	383-390	2012

Kobayashi Y, Sakamaki H, Fujisawa S, Ando K, Yamamoto K, Okada M, Ishizawa K, Nagai T, Miyawaki S, Motoji T, Usui N, Iida S, Taniwaki M, Uoshima N, Seriu T, Ohno R.	Lack of non-hematological cross intolerance of dasatinib to imatinib in imatinib-intolerant patients with Philadelphia chromosome positive chronic myeloid leukemia or acute lymphatic leukemia: a retrospective safety analysis.	Int J Hematol	93(6)	745-759	2011
Chihara D., Oki Y., Onoda H., Taji H., Yamamoto K., Tamaki T., Morishima Y.	High maximum standard uptake value (SUVmax) on PET scan is associated with shorter survival in patients with diffuse large B cell lymphoma.	Int J Hematol	93(4)	502-508	2011
Kato H., Kagami Y., Kodaira T., Oka S., Oki Y., Chihara D., Taji H., Yatabe Y., Nakamura T., Nakamura S., Seto M., Yamamoto K., Morishima Y	Nodal relapse after Helicobacter pylori eradication in a patient with primary localized gastric mucosa-associated lymphoid tissue lymphoma.	Am J Gastroenterol	106(3)	549-551	2011
Tominaga-Sato S, Tsushima H, Ando K, Itonaga H, Imaizumi Y, Imanishi D, Iwanaga M, Taguchi J, Fukushima T, Yoshida S, Hata T, Moriuchi Y, Kuriyama K, Mano H, Tomonaga M, Miyazaki Y.	Expression of myeloperoxidase and gene mutations in AML patients with normal karyotype: double CEBPA mutations are associated with high percentage of MPO positivity in leukemic blasts.	Int J Hematol	94(1)	81-89	2011
Fukushima T, Taguchi J, Moriuchi Y, Yoshida S, Itonaga H, Ando K, Sawayama Y, Imaizumi Y, Imanishi D, Hata T, Miyazaki Y	Allogeneic hematopoietic stem cell transplantation for ATL with central nervous system involvement: The Nagasaki Transplant Group experience.	Int J Hematol	94(4)	390-394	2011
Choi I, Tanosaki R, Uike N, Utsunomiya A, Tomonaga M, Harada M, Yamanaka T, Kannagi M and Okamura J.	Long-term outcomes after hematopoietic SCT for adult T-cell leukemia/lymphoma: results of prospective trials.	Bone Marrow Transplant	46(1)	116-118	2011
Chou T, Tobinai K, Uike U, Asakawa T, Saito I, Fukuda H, Mizoroki F, Ando K, Iida S, Ueda R, Tsukasaki K, and Hotta T.	Melphalan–Prednisolone and Vincristine–Doxorubicin–Dexamethasone Chemotherapy followed by Prednisolone/Interferon Maintenance Therapy for Multiple Myeloma: Japan Clinical Oncology Group Study, JCOG0112.	Jpn J Clin Oncol	41(4)	586-589	2011

Tobinai K, Igarashi T, Itoh K, Kurosawa M, Nagai H, Hiraoka A, Kinoshita T, <u>Uike N</u> , <u>Ogura M</u> , Nawano S, Mori S, Ohashi Y and all collaborators of the IDEC-C2B8 Study Group in Japan.	Rituximab monotherapy with eight weekly infusions for relapsed or refractory patients with indolent B-cell non-Hodgkin lymphoma mostly pretreated with rituximab: a multicenter phase II study.	Cancer Sci	102(9)	1698-1705	2011
Hirata H, Nakagawa M, Abe K, Okafuji T, Shinozaki K, Choi I, <u>Uike N</u> , Sakai S.	Incidental Uptake of In-111 Ibrismomab Tiuxetan in Surgically Treated Fracture.	Sci Res	1	12-15	2011
<u>Watanabe T</u> , Tobinai K, Shibata T, Tsukasaki K, Morishima Y, Maseki N, Kinoshita T, Suzuki T, Yamaguchi M, Ando K, <u>Ogura M</u> , Taniwaki M, <u>Uike N</u> , Takeuchi K, Nawano S, Terauchi T, Hotta T.	Phase II/III trial of R-CHOP-21 versus R-CHOP-14 for untreated indolent B-cell Non-Hodgkin's lymphoma: JCOG0203 Trial.	J Clin Oncol	29(30)	3990-3998	2011
Tsuboi K, Yokozawa T, Sakura T, <u>Watanabe T</u> , Fujisawa S, Yamauchi T, <u>Uike N</u> , Ando K, Kihara R, Tobinai K, Asou H, Hotta T, Miyawaki S.	A Phase I study to assess the safety, pharmacokinetics and efficacy of barasertib (AZD1152), an Aurora B kinase inhibitor, in Japanese patients with advanced acute myeloid leukemia.	Leuk Res	35(10)	1384-1389	2011
Ohmachi K, Tobinai K, Kobayashi Y, Itoh K, Nakata M, Shibata T, Morishima Y, <u>Ogura M</u> , Suzuki T, Ueda R, Aikawa K, Nakamura S, Fukuda H, Shimoyama M, Hotta T; Lymphoma Study Group of the Japan Clinical Oncology Group.	Phase III trial of CHOP-21 versus CHOP-14 for aggressive non-Hodgkin's lymphoma: final results of the Japan Clinical Oncology Group Study JCOG 9809.	Ann Oncol	22(6)	1382-1391	2011
Tobinai K, <u>Ogura M</u> , Kobayashi Y, Uchida T, Watanabe T, Oyama T, Maruyama D, Suzuki T, Mori M, Kasai M, Cronier D, Wooldridge JE, Koshiji M.	Phase I study of LY2469298, an Fc-engineered humanized anti-CD20 antibody, in patients with relapsed or refractory follicular lymphoma.	Cancer Sci	102(2)	432-438	2011
Tateishi U, Tatsumi M, Terauchi T, Ishizawa K, <u>Ogura M</u> , Tobinai K.	Relevance of monitoring metabolic reduction in patients with relapsed or refractory follicular and mantle cell lymphoma receiving bendamustine: a multicenter study.	Cancer Sci	102(2)	414-418	2011

Uchida T, Ogawa Y, Kobayashi Y, Ishikawa T, Ohashi H, Hata T, Usui N, Taniwaki M, Ohnishi K, Akiyama H, Ozawa K, Ohyashiki K, Okamoto S, Tomita A, Nakao S, Tobinai K, Ogura M, Ando K, Hotta T.	Japanese phase I/II study of azacitidine in patients with myelodysplastic syndromes.	Cancer Sci	102(9)	1680-1686	2011
Ogura M, Ando K, Taniwaki M, Watanabe T, Uchida T, Ohmachi K, Matsumoto Y, Tobinai K; Japanese Bendamustine Lymphoma Study Group.	Feasibility and pharmacokinetic study of bendamustine hydrochloride in combination with rituximab in relapsed or refractory aggressive B cell non-Hodgkin's lymphoma	Cancer Sci	102(9)	1687-1692.	2011
Kakugawa Y, Terasaka S, Watanabe T, Tanaka S, Taniguchi H, Saito Y.	Enteropathy-associated T-cell lymphoma in small intestine detected by capsule endoscopy.	Leuk Lymphoma	53(8)	1623-1624	2012
Fukuhara S, Watanabe T, Munakata W, Mori M, Maruyama D, Kim SW, Kobayashi Y, Taniguchi H, Maeshima AM, Tanosaki R, Matsuno Y, Tobinai K.	Bulky disease has an impact on outcomes in primary diffuse large B-cell lymphoma of the breast: a retrospective analysis at a single institution.	Eur J Haematol	87(5)	434-440	2011
Tomita N, Yokoyama M, Yamamoto W, Watanabe R, Shimazu Y, Masaki Y, Tsunoda S, Hashimoto C, Murayama K, Yano T, Okamoto R, Kikuchi A, Tamura K, Sato K, Sunami K, Shibayama H, Takimoto R, Ohshima R, Hatta Y, Moriuchi Y, Kinoshita T, Yamamoto M, Numata A, Ishigatsubo Y, Takeuchi K.	Central nervous system event in patients with diffuse large B-cell lymphoma in the rituximab era.	Cancer Sci	103(2)	245-251	2012
Takahashi H, Tomita N, Yokoyama M, Tsunoda S, Yano T, Murayama K, Hashimoto C, Tamura K, Sato K, Ishigatsubo Y.	Prognostic impact of extranodal involvement in diffuse large B-cell lymphoma in the rituximab era.	Cancer	118(17)	4166-4172	2012
Nishimura N, Nakano K, Ueda K, Kodaira M, Yamada S, Mishima Y, Yokoyama M, Terui Y, Takahashi S, Hatake K.	Prospective evaluation of incidence and severity of oral mucositis induced by conventional chemotherapy in solid tumors and malignant lymphomas.	Support Care Cancer	20(9)	2053-2059	2012
Suzuki K, Terui Y, Nakano K, Nara E, Nasu K, Ueda K, Nishimura N, Mishima Y, Sakajiri S, Yokoyama M, Takahashi S, Hatake K.	High thymidine kinase activity is a strong predictive factor for poor prognosis in PTCLs treated by CHOP.	Leuk Lymphoma	53(5)	849-854	2012

牛島洋子、 <u>山本一仁</u>	T細胞性リンパ系腫瘍に対する新規薬剤の導入による新たな治療展開。【注目される造血器腫瘍に対する新規薬剤の現状と展望】	血液内科	62(1)	51-57	2011
<u>山本一仁</u>	高リスクびまん性大細胞型B細胞リンパ腫：R-CHOPを越える治療の動向。特集「B細胞リンパ腫治療のパラダイムシフト」	血液フロンティア	21(10)	77(1457)-86(1466)	2011
稲垣裕一郎、 <u>山本一仁</u>	白血病に対する個別化治療。特集「標準治療となった個別化治療」	腫瘍内科	9(1)	50-58	2012
<u>山本一仁</u>	Upfront自家移植の評価。特集「造血器腫瘍における高用量治療の評価」	腫瘍内科	9(2)	137-145	2012
糸永英弘、福島卓也、田口潤、今西大介、今泉芳孝、波多智子、塚崎邦弘、宮崎泰司	顆粒リンパ球増多症に続発した急性単芽球形白血病。	臨床血液	52(12)	1870-1875	2011
<u>鶴池直邦</u>	疾患各論 慢性リンパ性白血病	クリニシアン	Vol.58 No.595	179-184	2011
崔日承、 <u>鶴池直邦</u>	成人T細胞白血病リンパ腫に対するミニ移植の有効性は持続するか？	血液内科	63	46-50	2011
岩下生久子、井野彰浩、 <u>鶴池直邦</u> 、内田耕栄、西牟田雄祐、上原智	HTLV-1感染者の上部消化管病変。	胃と腸	46	264-274	2011
<u>鶴池直邦</u>	トレアキシン治療のワンポイント解析『治療中留意すべき副作用・臨床症状の発現時期解析』	Clinical Managementシリーズ			2011
宇都宮與、石田高司、 <u>鶴池直邦</u> 、瀬戸加大。	Round Table Discussion 成人T細胞白血病研究の進歩と今後の展望	Trends in Hematological Malignancies	3(2)	64-71,	2011
<u>鶴池直邦</u>	「がん診療に携わる全ての医師のための心のケアガイド」を読んで	JPOS News Letter	No.66		2011